

令和元年度 かながわティーチャーズカレッジ

カレッジ・ニュース



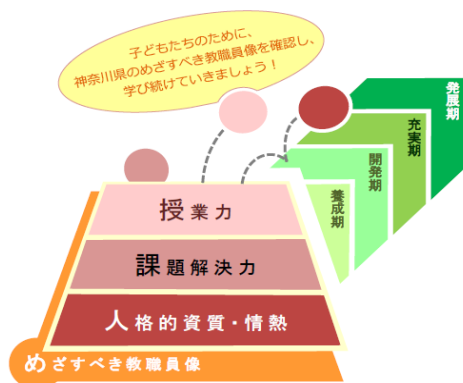
号外

令和2年3月15日 発行
神奈川県立総合教育センター
かながわティーチャーズカレッジ事務局
(教育人材育成課若手教員育成班)

かながわティーチャーズカレッジ閉講によせて

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、閉講式は残念ながら中止となりました。実行委員を中心に閉講セレモニーの準備をしてくださった受講者の皆さん、ありがとうございました。

皆さんは、この「かながわティーチャーズカレッジ」で何を感じ、何をすることができましたか。それぞれが、様々な経験を通して多くのものを得られたことと思います。



閉講にあたり、神奈川県の「めざすべき教職員像」をもう一度確かめながら、「かながわティーチャーズカレッジ」で学んだことは何か、今後にかきたいことは何か、改めて考えてみてください。

本日まで、かながわティーチャーズカレッジに参加され、共に学んでこられた皆さんに敬意を表します。周囲に教員をめざす仲間や後輩がいましたら、かながわティーチャーズカレッジを御紹介いただければ幸いです。

これからの神奈川県の教育を担う皆さんの御活躍を楽しみにしています。



お知らせ

① 修了証について

オープンコース、チャレンジコースともに修了証の再発行はいたしません。紛失しないように保管してください。

② 今年度のかながわ教育学講座の録画DVDについて

4月中であれば、平日9時～12時、13時～17時に、西棟2階のカリキュラム開発センターで御覧いただけます。事前に事務局へ電話(0466-81-0253)で視聴予約を入れ、受講証を持参してお越しください。



～ 閉講式で予定していた「代表の言葉」より ～



私は「教師力を向上させたい」という一心で、かながわティーチャーズカレッジで勉強することを決断しました。

実践力向上講座の「かながわ人づくりコラボ」では、アーチェリー選手兼日本体育大学教授の山本博先生のご講演を拝聴しました。「昨日できなかったことが、今日できるようになることを体感できることが、スポーツの良さである」という言葉に感銘を受けました。勝つことに固執するのではなく、成長過程を楽しみながら何かに打ち込むことがいかに大切であるかを学ぶことができました。

かながわ教育学講座では、第6回「授業づくりを学ぶ①」の講座が特に印象に残っています。指導主事の先生による模範授業を受け、生徒側の立場に立った考え方を身に付けることができました。生徒同士で教え合いながら学習を進めることの大切さ、楽しさに気付くことができました。

教員として、社会人として「一人でも多くの人を幸せにすること」が私の夢です。この半年間で学んだことを最大限に活かし、自己実現できるよう尽力していきます。

最後になりますが、お世話になりましたグループ担当の先生、カレッジ事務局の皆様、令和元年度ティーチャーズカレッジに関わってくださったすべての皆様にお礼申し上げます。

オープンコース代表

「視野を広げる」。これが、私がかながわティーチャーズカレッジ チャレンジコース小学校を志望した理由でした。私はこれまで自分の意見を相手に分かりやすく伝えることが苦手でした。そこで、自分を変えてより多くの方と出会い、様々な考えや思いに触れ、自分の視野を広げたいと思いました。

かながわティーチャーズカレッジでの約半年間の学びは、これから続く教職人生の中でも特に価値のある経験になると思っています。

かながわ教育学講座では、特別講座①「子どもの命を守る」の講座が心に残っています。教員は、子どもたちの学びを支えることはもちろんですが、子どもたちの命を守る大切な責任があるということに改めて実感しました。そのため、常に子どもの目線に立ち、行動したいと考えています。

スクールライフサポーターでは、児童の様子や児童に対する具体的な言葉掛け等、大学では学ぶことのできない体験をすることができました。特に印象に残っていることは、児童の笑顔です。毎回、スクールライフサポーターに行くことが私の楽しみになっていました。この経験を無駄にせず、児童にとって安心できる学校になるように努力していきます。

最後になりましたが、かながわティーチャーズカレッジで学び、同じ夢を持つ仲間に出会えたことに感謝しています。また、お世話になりましたグループ担当の先生やカレッジ事務局の皆様、本当にありがとうございました。

ここで学んだことを忘れずにこれから待っている児童と真正面から向き合うことをここに誓い、結びに代えます。

チャレンジコース代表